
『約束』 『記憶』

RIA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『約束』 『記憶』

【Nコード】

N8157C

【作者名】

RIA

【あらすじ】

詩です。『約束』は僕が創作、記憶は実話を詩にしたものです。短いですが、ぜひお読みください。

『約束』

僕がいたころ君はどこにいた？

死ぬまで君を捜しつづけた

必ず見つけてやると

約束した

それなのに果たせなかった

約束

あの子はまだ待っているのか？

もう絶対に果たせない

約束を

誰か僕の代わりに

果たしてはくれないか？

もしあの子が待っていたのなら

その思いを裏切ることには出来ないから

もしあの子が待っていないなかったら

僕はただの滑稽な道化師^{ヒョロ}だけど

自分が生きてた証がもらえる

それだけでもいい

僕はただ漠然と生きて

屍になりたくはない

たとえどんな方法でも

自分が生きていた証が欲しい

あの子のおかげで分かったんだ

あの子は意識していないだろうけど

あの子に教わったんだ

あの子は気づいていないだろうけど

だからあの子を裏切れない

もう約束を果たすことが出来ない

僕の代わりに

誰か約束を果たしてくれないか？

僕に大切なこと

生きる意味

それを教えてくれた

あの子のために

『記憶』

もう既に

忘れ去てしまった

あの人との思い出

いつからだろう？

思い出そうとしなくなったのは

もし無理やりにでも

思い出そうとすれば

偽りの記憶を

作ってしまいそうだから

そんなことは彼も望まないだろうし

私も望まないから

だからせめて

もう一度だけ顔を見せて欲しい

それだけで私は

満足するから…

(後書き)

作者より読者様へ…

最後までお読み頂き、ありがとうございます。

何かアドバイスやコメント、駄目な所があればぜひおっしゃってください。

超初心者な僕ですが、皆様からの感想等を励みにがんばりたいと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8157c/>

『約束』 『記憶』

2011年2月1日03時58分発行